



長野県オープンデータリーダーダ研修2019
ワークショップ

@JA長野県ビル12F12B会議室
2019.8.28

名古屋大学大学院情報学研究科 遠藤守



sis





内容（50分）

- ミニアイデアソン（40分）
 - 事前説明（5分）
 - グループ別アイデアソンの実施
 - 自己紹介（5分）
 - アイデア出し（10分）
 - グループ内共有と議論（10分）
 - 発表（10分）
- その他（10分）
 - 利用規約について
 - 長野県様より





ミニアイデアソンの実施





事前説明

- アイデアソンは皆さんご存知ですよ？
- テーマは
 - 上司、首長を説得するには
 - 原課に協力してもらうにはなど、庁内理解を得るためにどんな工夫をすれば良いのかです
- 用紙をご覧ください
 - やり取りのセリフを吹き出しに記入します



グループ別アイデアソンの実施

- アイデアソンの実施
 - 自己紹介（5分）
 - アイデア出し（5分）
 - ご自身の原課さんとのやり取りを想定しアイデア用紙に記入
 - グループ内共有と議論（10分）
 - 各自のアイデア用紙をもとにグループ内で発表
 - 面白い・良い・これなら上手くいきそう・な数枚を選ぶ
 - 発表（5分）
 - 特に議論となったアイデアについて紹介をお願いします



自己紹介

- 氏名と所属
 - 日常業務
 - どんなことに工夫をしているか
 - どんなことが課題になっているか
 - 個人と組織
 - 抱負など
- 一通り終わったら発表担当者を決めてください





アイデア出し

- アイデアソン用紙は本研修のみに利用しますので、忌憚なくご記入下さい
- ご自身の自治体・原課のシチュエーションを想定して具体的に考えてみてください
 - こういう状況があるのだけれど
 - きっとこういう返事があるんだろうな
 - こういう切り返し方はどうかな？
- 吹き出し内に番号をつけて読み方の順番をつけるなどしてください
 - 始まりはどちらからでも結構です





グループ内共有と議論

- ご自身のアイデアソン用紙を見せながら
 - 背景となる具体的説明
 - 上司・首長に納得してもらうためのアイデア（やり取り）
 - グループメンバーからの質疑



発表

- グループ毎に発表をお願いします
 - 発表担当になった方から、概要説明をお願いします
 - 各グループ約1分
 - 要点を絞ってご説明下さい
- 例
 - 「当グループではオープンデータ推進を原課に一層理解してもらうための方策について、〇〇について話題になった」
 - 「●●を〇〇するようになれば良いのではないかという意見が出た」





その他





利用規約について

- 利用規約の雛形についての補足
 - 著作権
 - 第三者の権利
 - ロゴ・シンボルマーク等
 - 免責事項
 - 他のサイトの利用規約との関係
 - 準拠法と合意管轄
 - 利用規約違反への対応



利用規約策定時に注意すべき点

- オープン化を妨げる禁止事項は書かない
 - 公序良俗問題
 - 公序良俗に反する利用
 - 国家・国民の安全に脅威を与える利用
 - データを使う側にとって何ができないか分かりにくい→使われにくくなる
 - 公開側はどんなことに利用されるかを全て想定し、個別もしくは包括的にそれらデータの使い方までを利用者に制限することはできません。
 - 制限することによって、禁止利用者に対する対処をする責任が生じコストアップに繋がります
- オープンデータは何に使っても良い

どうしても制限がある状態で公開したい

- オープンデータに準じる（条件付き）データとして≠オープンデータ
 - ログマークや動画
 - 市以外の著作権保持者がどうしてもこれだけは自由にさせたくない
 - 政治・宗教利用は×
 - ログマーク：縦横比を変えて利用されたくない等
 - 動画：順番を変えて見せて欲しくない等
 - CC BY ND（改変禁止）が妥当
 - 「～は禁止します。」は×
 - 「～はご遠慮ください。」は△
- オープンデータサイトと配布サイトとでデータ利用のルールを統一すること
 - 最もクレームが多いケース



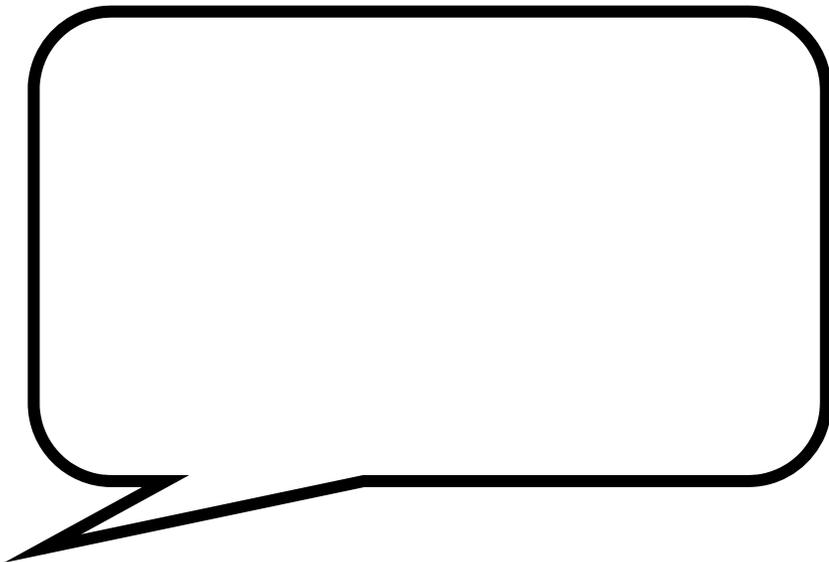
長野県様より





お疲れ様でした





アイデアソン用紙

グループ

団体



sis

